

青山台 公園未来への協議 ワーキンググループ

NEWS LETTER vol.3



第4回ワーキンググループを開催しました

青山台地区にふさわしい未来の公園・遊園のあり方について考える「青山台公園未来への協議ワーキンググループ」の第4回目は、くちなし公園で優先的に整備したい施設は何か、高低差を活かした遊具についての小学生へのアンケートの実施方法、今後の遊園社会実験の実施に向けた計画などについて考えました。



開催日時：令和6年10月29日（火）18：00～

開催場所：青山台市民ホール 会議室

参加者：14名（青山台小学校校長1名、地域住民5名、市4名、Jカウト4名）

主な意見の紹介

くちなし公園の再整備について

新しく整備 したい施設

- 健康遊具のニーズは高いが、周辺の遊園に整備してくれるのであれば、くちなし公園ではベンチ兼用のもの数個で良い
- 簡単なものでよいので、座れる場所がたくさんほしい。藤棚の周りの既存コンクリートウォールを座れるように整備してはどうか
- 藤棚下にテーブル、広場のパーゴラ下にベンチ・テーブルがほしい
- 広場のパーゴラの位置は、樹木の関係も考慮し、検討してほしい

できれば整備 したい施設

- バドミントンはコート整備ではなく、自治会で簡易セットを貸出等でよいのでは
- バスケットコートは舗装されたコートを整備し、ゴールリングの高さを小学生用にしてほしい

まとめ

- テーブルやバスケットコートなど整備したい施設の優先順位について、地域で話し合い方向性を決定する
- 小学生へのアンケートを作成し、11月中旬に実施する

高低差を 活かした遊具

- 自分で考えた公園と思ってもらえるよう、遊具アンケートは全学年を対象に行ってはどうか。保護者にも意見を聞く
- アンケートには、遊具の完成時期（=令和8年）の記載や、規模感がわかるような工夫が必要である

遊具ができるところ



遊具のイメージを作って、小学生にアンケートを行います



社会実験 の実施に向けて

雑草対策

- エコ除草剤を使用するとしても、周辺住民への十分な事前説明が必要である
- 除草することで利用する人が増えることが期待できるふじのき遊園で実施してはどうか

ライトアップ

- 松の木遊園ではなく、フェニックス遊園（法面含む）で実施してはどうか
- 夜間に人が集まることが危惧されるため、近隣住民の意見を聞く必要がある

ペイントイベント

- 子どもが喜びそうなイベントであり、学校にも案内してはどうか
- 地域で実施場所、日程を検討したい

剪定講習会

- 住民が剪定できるよう技術指導や剪定者を認定するような仕組みがあると良い
- 専門家の意見を聞いて、地域全体の樹木の管理方針を検討したい
- 地区の植栽について、聞きたいことをまとめておく

収穫祭・花摘み

- 野菜のできる時期にあえば、収穫祭は可能である。実施する場合、1ヶ月前くらいには案内する必要がある

まとめ

- 実施するかどうか、また実施場所、日時について地域で話し合い決定する

《今後の協議について》
遊園での菜園等の社会実験を継続していくための方法や、目指す各遊園のあり方について検討していく予定です

各遊園で社会実験をしています！

このほりが目印！

現在、青山台地区の各遊園で菜園づくりや花壇づくり、竹チップを使った雑草対策など、さまざまな社会実験を行っています。お散歩のついでに、覗いてみてください！



ふじのき遊園
竹チップ敷設



はっぴー遊園
菜園づくり



フェニックス遊園
花壇づくり

現在、遊具や舗装部分のペイントイベント、色々な手法での雑草対策などの社会実験の実施について検討中です。詳細が決まりましたらお知らせします。

興味のある方、ぜひご参加ください。お待ちしております！



発行：吹田市土木部公園みどり室（担当：白井・中平）
TEL：06-6834-5364 FAX：06-6834-5486
✉：dousei-kouen@city.suita.osaka.jp
業務受託コンサルタント：株式会社総合計画機構

青山台公園未来への協議
ワーキンググループについて
詳しくはこちら！

吹田市HP➡

